

平成 2 1 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 登別市文化振興助成金
-------------------	-------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む
施策	1	市民の文化・芸術活動の育成・支援
小分類	1	市民文化活動の活性化
主要な施策	2	各団体とのネットワーク化、情報提供
事務事業番号	001	事務事業コード 53112001 事業開始年度 昭和 4 5 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	登別市文化振興助成金
------	------	------------	------------

部 名	教育部	グループ名	社会教育G
-----	-----	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

**事務事業の目的と成果**

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 市民
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 文化団体の活動支援と、文化振興を行う登別市文化協会に助成金を交付する。 【文化協会の主な主催事業】 ・文化大集会：体育協会、財団と共に、毎年市民ニーズに対応する豊かな文化内容を盛り込んだ事業を実施している。(事業～H18：堀井学講演会、H19：三宮恵利子講演会、H20道下俊一講演会、H21：中国黒龍江省芸術団招聘) ・表彰式：文化振興発展に寄与した会員を表彰。 ・機関紙発行：「登別文協だより」を発行し、市民に配布している。(市民文芸誌、機関紙は年1回) 【共催事業】 ・市民文化祭：日頃の練習成果を、市民に発表。 ・胆振芸術祭への協力：H19 いぶり民謡歌合戦、H20 大正琴、H21 書道展
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 地域に根ざした文化振興活動や文化団体への活動支援を実施している文化協会を支援することにより、市民が文化に親しめるまちづくりを推進する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 登別市補助金等の事務取扱に関する規則

**指標の推移**

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	加盟団体	団体	目標値	37	37	37	37	37
			実績値	37				
	加盟人数	人	目標値	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
			実績値	2,000				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	800	800	800	800	800	2,400
合 計				800	800	800	800	800	2,400
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	331	346			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		331	346			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？
登別市文化協会への支援は、登別市の文化発信の拠点として市民の文化活動の裾野を広げるとともに文化の向上を図り、「文化の香り高いまちづくり」を進めるための手段である。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？
文化協会や加盟団体が、市民と活動を展開することにより、文化活動の裾野が広がっている。また、小中学校の総合学習において尺八や琴、三味線などの指導を行うなど、伝統文化習得や継承にも貢献している。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？
文化活動は、市民の主體的な活動であるため、同協会、文化・スポーツ振興財団、体育協会が連携して活動することにより、多様な形で成果が反映され、文化の振興や向上につながっている。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？
文化活動の裾野拡大と、その向上と振興を図るうえでも、これ以上の削減は難しい。			

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	文化協会は、発促以来45年にわたり、市民の文化の拠点として活動してきており、文化向上や振興に貢献してきた。今後においても、市民と活動を創意工夫し、その振興に努めることから、支援は必要である。
----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）